Asset Management One

運 用 報 告 書（全体版）

ＵＳストラテジック・インカム・ファンド Ａコース（為替ヘッジあり）

愛称：債券王

第156期　<決算日　2026年３月23日>
第157期　<決算日　2026年４月23日>
第158期　<決算日　2026年５月25日>
第159期　<決算日　2026年６月23日>
第160期　<決算日　2026年７月23日>
第161期　<決算日　2026年８月24日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ＵＳストラテジック・インカム・ファンド　Ａコース（為替ヘッジあり）」は、2026年８月24日に第161期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2013年３月８日から2028年２月24日までです。	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ＵＳストラテジック・インカム・ファンド Ａコース（為替ヘッジあり）	円建て外国投資信託である「ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ　ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラス」（以下、「外国投資信託」といいます。）の投資信託証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託であるＤＩＡＭマネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド 円建て為替ヘッジありクラス	米ドル建て米国債券（*）を主要投資対象とします。 （*）主要投資対象となる米ドル建て米国債券の主な債券種類は、米国の国債、政府機関債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債等です。なお、米ドル建て非米国社債等に投資する場合があります。
	ＤＩＡＭマネーマザーファンド	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
運用方法	円建て外国投資信託への投資を通じて、実質的に米ドル建て米国債券に投資します。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行います。	
組入制限	ＵＳストラテジック・インカム・ファンド Ａコース（為替ヘッジあり）	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
	ＤＩＡＭマネーマザーファンド	株式への投資割合は、純資産総額の10％以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2
https://www.am-one.co.jp/

ＵＳストラテジック・インカム・ファンド　Ａコース（為替ヘッジあり）

■最近５作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託受益証券組入比率	債券組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
		円	円	%	%	%	百万円
第23作成期	132期(2024年３月25日)	6,684	10	0.8	97.1	0.1	1,170
	133期(2024年４月23日)	6,483	10	△2.9	97.0	0.0	1,132
	134期(2024年５月23日)	6,560	10	1.3	97.7	0.1	1,140
	135期(2024年６月24日)	6,603	10	0.8	97.0	0.1	1,127
	136期(2024年７月23日)	6,593	10	0.0	97.2	0.1	1,130
	137期(2024年８月23日)	6,710	10	1.9	97.3	0.1	1,147
第24作成期	138期(2024年９月24日)	6,766	10	1.0	96.8	0.1	1,179
	139期(2024年10月23日)	6,556	10	△3.0	97.1	0.1	1,155
	140期(2024年11月25日)	6,461	10	△1.3	97.0	0.1	1,132
	141期(2024年12月23日)	6,423	10	△0.4	97.6	0.1	1,114
	142期(2025年１月23日)	6,392	10	△0.3	96.8	0.1	1,114
	143期(2025年２月25日)	6,437	10	0.9	97.0	0.1	1,080
第25作成期	144期(2025年３月24日)	6,466	10	0.6	96.8	0.1	1,088
	145期(2025年４月23日)	6,343	10	△1.7	97.0	0.1	1,071
	146期(2025年５月23日)	6,323	10	△0.2	97.2	0.1	1,063
	147期(2025年６月23日)	6,391	10	1.2	97.8	0.1	1,058
	148期(2025年７月23日)	6,405	10	0.4	97.0	0.1	1,051
	149期(2025年８月25日)	6,426	10	0.5	97.9	0.1	1,048
第26作成期	150期(2025年９月24日)	6,467	10	0.8	97.0	0.1	1,046
	151期(2025年10月23日)	6,523	10	1.0	97.8	0.1	1,031
	152期(2025年11月25日)	6,456	10	△0.9	97.1	0.1	1,499
	153期(2025年12月23日)	6,433	10	△0.2	97.7	0.1	1,480
	154期(2026年１月23日)	6,404	10	△0.3	97.0	0.1	1,458
	155期(2026年２月24日)	6,449	10	0.9	97.0	0.1	1,499
第27作成期	156期(2026年３月23日)	6,328	10	△1.7	97.8	0.1	1,457
	157期(2026年４月23日)	6,337	10	0.3	97.8	0.1	1,455
	158期(2026年５月25日)	6,223	10	△1.6	97.8	0.1	1,423
	159期(2026年６月23日)	6,230	10	0.3	97.0	0.1	1,332
	160期(2026年７月23日)	6,170	10	△0.8	97.3	0.1	1,315
	161期(2026年８月24日)	6,156	10	△0.1	98.3	0.1	1,275

（注１）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注３）「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。
（注４）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。
（注５）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

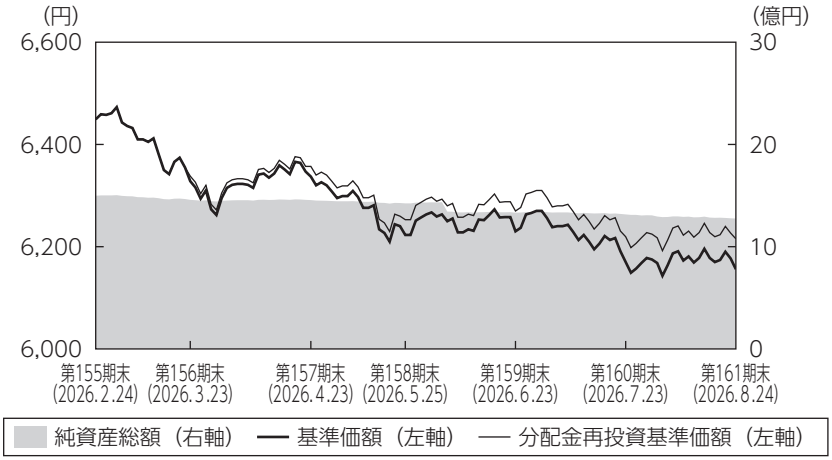
■過去６ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年月日	基準価額		投資信託受益証券組入比率	債券組入比率
			騰落率		
	(期首)	円	%	%	%
	2026年2月24日	6,449	－	97.0	0.1
第156期	2月末	6,461	0.2	97.3	0.1
	(期末)				
	2026年3月23日	6,338	△1.7	97.8	0.1
	(期首)				
	2026年3月23日	6,328	－	97.8	0.1
第157期	3月末	6,295	△0.5	98.0	0.1
	(期末)				
	2026年4月23日	6,347	0.3	97.8	0.1
	(期首)				
	2026年4月23日	6,337	－	97.8	0.1
第158期	4月末	6,308	△0.5	98.0	0.1
	(期末)				
	2026年5月25日	6,233	△1.6	97.8	0.1
	(期首)				
	2026年5月25日	6,223	－	97.8	0.1
第159期	5月末	6,263	0.6	97.8	0.1
	(期末)				
	2026年6月23日	6,240	0.3	97.0	0.1
	(期首)				
	2026年6月23日	6,230	－	97.0	0.1
第160期	6月末	6,270	0.6	97.3	0.1
	(期末)				
	2026年7月23日	6,180	△0.8	97.3	0.1
	(期首)				
	2026年7月23日	6,170	－	97.3	0.1
第161期	7月末	6,168	△0.0	97.3	0.1
	(期末)				
	2026年8月24日	6,166	△0.1	98.3	0.1

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注３）「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第156期～第161期の運用経過（2026年２月25日から2026年８月24日まで）

基準価額等の推移



第156期首：　6,449円
第161期末：　6,156円
（既払分配金60円）
騰　落　率：　△3.6%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

債券部分は、米国債利回りが上昇（価格は下落）し、信用スプレッドが拡大した環境下、国債やモーゲージ債などの保有がマイナス寄与となりました。またヘッジコストもマイナス寄与となり、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラス	△3.3%
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	0.4%

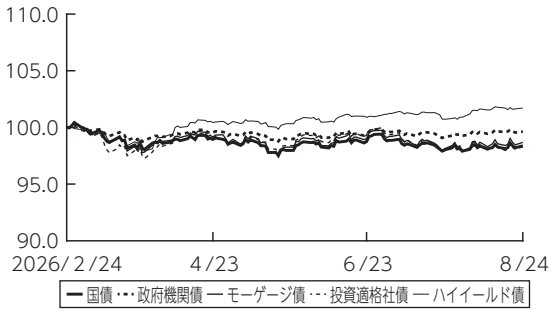
（注）ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

米国債券市場は10年国債利回りが前作成期末比で上昇しました。2026年５月中旬までは、米国とイランの軍事衝突を背景とした原油価格の上昇から10年国債利回りは上昇しました。その後、６月にかけては、米国とイランの和平合意観測による原油価格の下落から低下する局面もありましたが、作成期末にかけては、再度原油価格が上昇し、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）のインフレ抑制に対する強い姿勢が意識されたことなどから上昇しました。

国内短期金融市場では、３ヵ月国庫短期証券利回りは0.75％程度で始まりましたが、日銀が2026年６月に政策金利を引き上げたことから、当作成期末にかけて同利回りは上昇しました。

＜各種債券の推移（参考）＞



（注１）前作成期末の値を100として指数化しています。
（注２）上記の各種債券として使用している債券指数は以下の通りです。
国債：ブルームバーグ・米国国債インデックス
政府機関債：ブルームバーグ・米国政府機関債インデックス
モーゲージ債：ブルームバーグ・米国ＭＢＳインデックス
投資適格社債：ブルームバーグ・米国社債インデックス
ハイイールド債：ブルームバーグ・米国ハイイールド社債インデックス

※「Bloomberg®」およびブルームバーグ・米国国債インデックス、ブルームバーグ・米国政府機関債インデックス、ブルームバーグ・米国ＭＢＳインデックス、ブルームバーグ・米国社債インデックス、ブルームバーグ・米国ハイイールド社債インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「ＢＩＳＬ」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントＯｎｅ株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントＯｎｅ株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

ポートフォリオについて

●当ファンド

ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラスの組入比率は原則として高位を維持し、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラス

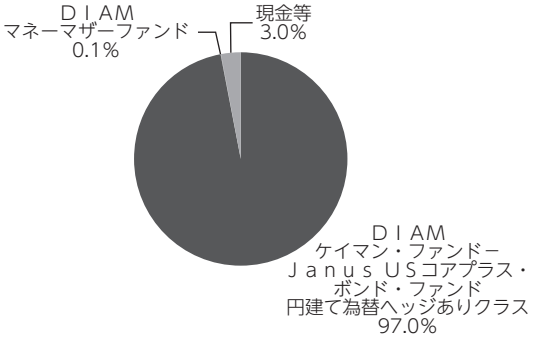
作成期初は、米国経済が底堅く推移しているとの見方から、社債や証券化商品などのクレジットセクターを選好する姿勢を維持しました。クレジットセクター内では投資適格社債およびハイイールド社債の配分を抑制する一方、相対的に魅力的なリスク・リターン特性を有すると判断した証券化商品については高位の組み入れを維持しました。加えて、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざしました。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

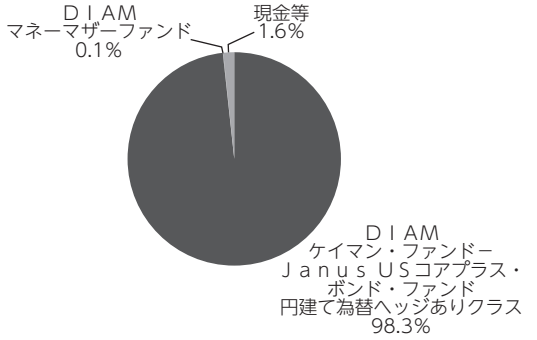
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成

前作成期末



当作成期末



（注）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	2026年2月25日～2026年3月23日	2026年3月24日～2026年4月23日	2026年4月24日～2026年5月25日	2026年5月26日～2026年6月23日	2026年6月24日～2026年7月23日	2026年7月24日～2026年8月24日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.16%	0.16%	0.16%	0.16%	0.16%	0.16%
当期の収益	10円	10円	10円	10円	10円	10円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	1,446円	1,467円	1,488円	1,509円	1,530円	1,551円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラスを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラス

中東情勢を巡る不確実性の継続を背景に、原油価格の高止まりとそれを受けたインフレ再燃への警戒感が強まっています。こうした中、ＦＲＢの政策姿勢がよりタカ派寄りとなっていることに加え、底堅い米国景気や、社債市場におけるＡＩ関連の起債増加などを背景に、利回りには上昇圧力がかかりやすい状況が続いています。依然として信用スプレッドが歴史的にタイトな水準で推移していることから、バリュエーション面での選別が一段と重要になっていると考えます。今後も機動的に資産配分を調整しながら、元本保全とリスク調整後リターンの獲得を目指す方針です。加えて、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

日銀は2026年７月の金融政策決定会合で、政策金利を1.0％とする金融政策を維持しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米で見られた形の急激な金利引き上げは回避すると想定されます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用を目指します。

■１万口当たりの費用明細

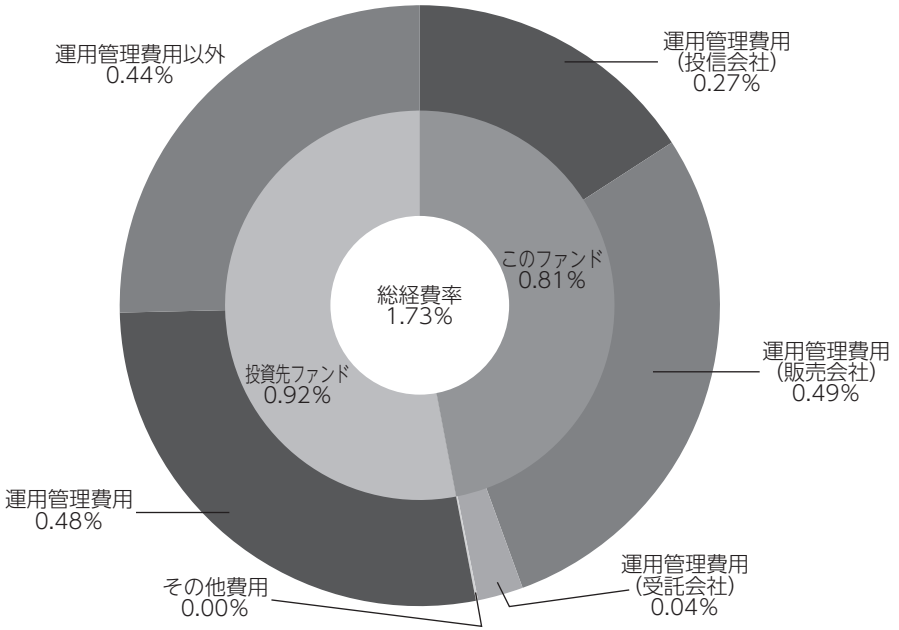
項目	第156期～第161期 (2026年２月25日 ～2026年８月24日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	25円	0.402%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,277円です。
(投信会社)	(9)	(0.136)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(15)	(0.245)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.021)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	0	0.001	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	25	0.403	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.73%
①このファンドの費用の比率	0.81%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.48%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.44%

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2026年２月25日から2026年８月24日まで）

投資信託受益証券

		第　156　期　～　第　161　期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド円建て為替ヘッジありクラス	1.88043	10,000	22.5	116,676

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2026年２月25日から2026年８月24日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2026年２月25日から2026年８月24日まで）

【ＵＳストラテジック・インカム・ファンド　Ａコース（為替ヘッジあり）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【ＤＩＡＭマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決算期	第　156　期　～　第　161　期					
区分	買付額等A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	5,389	798	14.8	2,596	798	30.8

平均保有割合　0.1%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第26作成期末	第27作成期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
DIAMケイマン・ファンド－Janus USコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラス	267.83901	247.21944	1,253,155	98.3
合計	267.83901	247.21944	1,253,155	98.3

（注）比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第26作成期末	第27作成期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
DIAMマネーマザーファンド	993	993	1,008

■投資信託財産の構成

2026年８月24日現在

項目	第27作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,253,155	97.6
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	1,008	0.1
コール・ローン等、その他	29,607	2.3
投資信託財産総額	1,283,772	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨てであります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年３月23日)、(2026年４月23日)、(2026年５月25日)、(2026年６月23日)、(2026年７月23日)、(2026年８月24日)現在

項目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
(A)資産	**1,463,316,253円**	**1,459,518,500円**	**1,430,148,201円**	**1,336,192,024円**	**1,322,940,598円**	**1,283,772,089円**
コール・ローン等	36,547,455	35,436,492	36,972,622	42,365,749	41,474,525	29,607,904
投資信託受益証券(評価額)	1,425,763,630	1,423,076,045	1,392,168,822	1,292,818,921	1,280,458,024	1,253,155,341
DIAMマネーマザーファンド(評価額)	1,005,168	1,005,963	1,006,757	1,007,354	1,008,049	1,008,844
(B)負債	**5,874,939**	**4,312,503**	**6,478,723**	**4,029,841**	**7,218,798**	**8,660,120**
未払収益分配金	2,303,171	2,296,290	2,287,668	2,138,263	2,132,441	2,071,375
未払解約金	2,675,943	1,006,908	3,158,862	1,002,256	4,192,376	5,661,655
未払信託報酬	892,621	1,005,688	1,028,498	886,137	890,781	923,771
その他未払費用	3,204	3,617	3,695	3,185	3,200	3,319
(C)純資産総額(A－B)	**1,457,441,314**	**1,455,205,997**	**1,423,669,478**	**1,332,162,183**	**1,315,721,800**	**1,275,111,969**
元本	2,303,171,664	2,296,290,712	2,287,668,132	2,138,263,893	2,132,441,964	2,071,375,027
次期繰越損益金	△845,730,350	△841,084,715	△863,998,654	△806,101,710	△816,720,164	△796,263,058
(D)受益権総口数	**2,303,171,664口**	**2,296,290,712口**	**2,287,668,132口**	**2,138,263,893口**	**2,132,441,964口**	**2,071,375,027口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**6,328円**	**6,337円**	**6,223円**	**6,230円**	**6,170円**	**6,156円**

（注）第155期末における元本額は2,324,573,196円、当作成期間（第156期～第161期）中における追加設定元本額は43,273,404円、同解約元本額は296,471,573円です。

■損益の状況

項目	第156期 自 2026年2月25日 至 2026年3月23日	第157期 自 2026年3月24日 至 2026年4月23日	第158期 自 2026年4月24日 至 2026年5月25日	第159期 自 2026年5月26日 至 2026年6月23日	第160期 自 2026年6月24日 至 2026年7月23日	第161期 自 2026年7月24日 至 2026年8月24日
(A) 配当等収益	**8,041,256円**	**8,073,335円**	**8,066,946円**	**7,498,363円**	**7,535,300円**	**7,365,203円**
受取配当金	8,018,537	8,053,182	8,045,659	7,471,296	7,504,477	7,335,673
受取利息	22,719	20,153	21,287	27,067	30,823	29,530
(B) 有価証券売買損益	**△32,649,431**	**△2,645,056**	**△30,802,555**	**△3,028,742**	**△17,333,478**	**△7,300,767**
売買益	140,234	36,348	96,741	466,802	42,666	90,412
売買損	△32,789,665	△2,681,404	△30,899,296	△3,495,544	△17,376,144	△7,391,179
(C) 信託報酬等	**△895,825**	**△1,009,305**	**△1,032,193**	**△889,322**	**△893,981**	**△927,090**
(D) 当期損益金(A+B+C)	**△25,504,000**	**4,418,974**	**△23,767,802**	**3,580,299**	**△10,692,159**	**△862,654**
(E) 前期繰越損益金	**△281,028,722**	**△307,429,259**	**△303,612,492**	**△306,811,342**	**△302,567,527**	**△305,370,994**
(F) 追加信託差損益金	**△536,894,457**	**△535,778,140**	**△534,330,692**	**△500,732,404**	**△501,328,037**	**△487,958,035**
(配当等相当額)	(192,987,706)	(192,631,756)	(192,173,265)	(180,233,084)	(180,681,668)	(175,975,341)
(売買損益相当額)	(△729,882,163)	(△728,409,896)	(△726,503,957)	(△680,965,488)	(△682,009,705)	(△663,933,376)
(G) 合計(D+E+F)	**△843,427,179**	**△838,788,425**	**△861,710,986**	**△803,963,447**	**△814,587,723**	**△794,191,683**
(H) 収益分配金	**△2,303,171**	**△2,296,290**	**△2,287,668**	**△2,138,263**	**△2,132,441**	**△2,071,375**
次期繰越損益金(G+H)	**△845,730,350**	**△841,084,715**	**△863,998,654**	**△806,101,710**	**△816,720,164**	**△796,263,058**
追加信託差損益金	△536,894,457	△535,778,140	△534,330,692	△500,732,404	△501,328,037	△487,958,035
(配当等相当額)	(192,987,706)	(192,631,756)	(192,173,265)	(180,233,084)	(180,681,668)	(175,975,341)
(売買損益相当額)	(△729,882,163)	(△728,409,896)	(△726,503,957)	(△680,965,488)	(△682,009,705)	(△663,933,376)
分配準備積立金	140,275,219	144,404,738	148,351,354	142,537,243	145,739,040	145,475,804
繰越損益金	△449,111,112	△449,711,313	△478,019,316	△447,906,549	△461,131,167	△453,780,827

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,145,833円	7,064,712円	7,035,556円	6,609,682円	6,642,022円	6,438,787円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	192,987,706	192,631,756	192,173,265	180,233,084	180,681,668	175,975,341
(d) 分配準備積立金	135,432,557	139,636,316	143,603,466	138,065,824	141,229,459	141,108,392
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	335,566,096	339,332,784	342,812,287	324,908,590	328,553,149	323,522,520
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,456.97	1,477.74	1,498.52	1,519.50	1,540.74	1,561.87
(g) 分配金	2,303,171	2,296,290	2,287,668	2,138,263	2,132,441	2,071,375
(h) 1万口当たり分配金	10	10	10	10	10	10

■分配金のお知らせ

決　算　期	第 156 期	第 157 期	第 158 期	第 159 期	第 160 期	第 161 期
１万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
　○分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
　○分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「ＤＩＡＭマネーマザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

（2026年４月１日）

ＤＩＡＭケイマン・ファンドー Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド

＜円建て為替ヘッジありクラス＞
＜円建て為替ヘッジなしクラス＞

当ファンドは「ＵＳストラテジック・インカム・ファンド」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン籍円建て外国投資信託
主要投資対象	米ドル建て米国債券（*）を主要投資対象とします。 （*）主要投資対象となる米ドル建て米国債券の主な債券種類は、米国の国債、政府機関債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債等です。なお、米ドル建て非米国社債等に投資する場合があります。
投資態度	①主として米ドル建て米国債券への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ・「ブルームバーグ・米国総合インデックス」（注）をベンチマークとし、ベンチマークを上回る成果をめざします。 ・企業ファンダメンタルズに基づくクレジット・リサーチにより、銘柄選択を行います。 ・各種債券セクターへの投資比率を機動的に変更します。 ②ポートフォリオのデュレーションは、ベンチマーク対比で125%から60%の範囲を目安とします。 ③投資する証券の平均格付（*）は、ＢＢＢ－格相当以上とします。 （*）平均格付は時価加重平均で判定します。 ④ハイイールド債券（*）への投資は、取得時において信託財産の純資産総額の35%以内とします。 （*）ハイイールド債券とは、格付会社３社のうち１社以上によって、ＢＢ＋格相当以下に格付されている債券をさします。 ⑤同一発行体の発行する債券への投資は、取得時において信託財産の純資産総額の５％以内とします。ただし、米国国債、米国政府機関債、およびモーゲージ債を除きます。なお、同一の政府支援機関が発行または保証等を行う債券（モーゲージ債を含みます。）への投資は、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ⑥原則として、現金および現金等価物への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ⑦組入外貨建資産については、円建て為替ヘッジありクラスでは、原則として米ドル売り円買いによる対円での為替ヘッジを行います。円建て為替ヘッジなしクラスでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ⑧デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。米国債先物をファンド全体のデュレーション・コントロールに活用する場合等があります。 ⑨ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託します。 （注）「Bloomberg®」およびブルームバーグ・米国総合インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「ＢＩＳＬ」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne株式会社とは提携しておらず、また、ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラス、ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラスを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラス、ＤＩＡＭケイマン・ファンドーＪａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラスに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
主な投資制限	①原則として、株式への投資は行いません。（ただし、コーポレートアクション等により取得した場合、可能な限り速やかに売却することとします。） ②転換社債への投資は可としますが、原則として株式への転換は不可とします。 ③有価証券の空売りは行いません。 ④流動性に欠ける資産への投資は、信託財産の純資産総額の15%を超えないものとします。 ⑤信託財産の純資産総額の10%を超える借入は行いません。 ⑥投資信託証券（上場投資信託証券を含みます。）への投資は行いません。 ⑦金融商品取引法上の有価証券および有価証券関連デリバティブ取引への投資比率は信託財産総額の50%以上とします。
投資顧問会社	アセットマネジメントOne株式会社
副投資顧問会社	ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシー
受託会社	ＣＩＢＣ カリビアン・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
管理事務代行会社	ステート・ストリート・バンク・インターナショナルＧｍｂＨ、ルクセンブルク支店
保管銀行	ステート・ストリート・バンク・インターナショナルＧｍｂＨ、ルクセンブルク支店

「ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジありクラス」、「ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド　円建て為替ヘッジなしクラス」は、「Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド」を構成する個別クラスとなっております。

「Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンド」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。
なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の和訳版の提供を受け、その一部を抜粋したものであります。

運用計算書
2025年12月31日期

	日本円
投資損益の部	
債券利息	¥ 1,611,422,946
投資ディスカウント増加およびプレミアム償却の純額	(270,416,155)
投資有価証券払戻による損失	(141,406,442)
収益合計	**1,199,600,349**
費用の部	
投資運用報酬	96,383,167
管理事務報酬	23,587,138
保管報酬	22,715,022
受託報酬	3,740,432
専門報酬	6,172,796
その他費用	6,632,235
費用合計	**159,230,790**
純投資収益	**1,040,369,559**
投資有価証券売却による実現純利益	1,612,505,206
為替先渡契約による実現純損失	(33,812,698)
先物契約による実現純損失	51,907,524
外貨取引による実現純損失	38,825,680
期中実現純利益額	**1,669,425,712**
投資有価証券による未実現損益の純変動	(1,324,947,867)
為替先渡契約による未実現純損益の変動	44,262,868
先物契約による未実現純損益の変動	92,812,990
外貨取引による未実現純損益の変動	(8,690,718)
期中未実現増加分の純変動額	**(1,196,562,727)**
運用による純資産の純増	**¥ 1,513,232,544**

	発行済受益権口数	一口当たり純資産価額（日本円）
クラス MJPHDJPY	265,413.92	5,451
クラス MUNHDJPY	876,345.06	8,101
クラス NJPHDJPY	100,000.00	9,096
クラス NUNHDJPY	456,006.72	16,163
クラス SUNHDJPY	884,679.58	13,757

（注）ＤＩＡＭケイマン・ファンド－Ｊａｎｕｓ ＵＳコアプラス・ボンド・ファンドは複数のクラスで構成されています。
上記のクラスMJPHDJPYは、「ＵＳストラテジック・インカム・ファンド　Ａコース（為替ヘッジあり）」が投資する日本円建て日本円ヘッジあり・毎月決算クラス、
クラスMUNHDJPYは、「ＵＳストラテジック・インカム・ファンド　Ｂコース（為替ヘッジなし）」が投資する日本円建て為替ヘッジなし・毎月決算クラス、
クラスNJPHDJPYは、日本円建て為替ヘッジありクラス、
クラスNUNHDJPYは、日本円建て日本円ヘッジなしクラス、
クラスSUNHDJPYは、日本円建て・年２回決算クラスです。

投資有価証券明細表（要約版）
2025年12月31日現在

	償却原価（日本円）	公正価値（日本円）	対純資産%
変動利付債			
その他	¥ 714,255,041	¥ 766,735,357	3.70%
変動利付債合計	**714,255,041**	**766,735,357**	**3.70%**
モーゲージ			
ケイマン諸島			
総合型金融サービス	1,031,847,505	1,097,065,958	5.30%
インターネット ソフトウェア・サービス	50,370,840	48,946,840	0.24%
貯蓄・抵当金融	39,313,350	42,344,343	0.20%
ケイマン諸島合計	1,121,531,695	1,188,357,141	5.74%
米国			
自動車	6,857,347	8,179,014	0.04%
資本市場	11,851,807	12,698,646	0.06%
消費者金融	27,799,430	29,916,888	0.14%
総合型金融サービス	6,590,524,588	7,276,158,059	35.12%
貯蓄・抵当金融	1,840,421,590	2,084,832,034	10.06%
米国合計	8,477,454,762	9,411,784,641	45.42%
その他	165,972,794	177,739,152	0.86%
モーゲージ合計	**9,764,959,251**	**10,777,880,934**	**52.02%**
モーゲージ - TBA			
その他	256,417,098	257,985,535	1.25%
モーゲージ - TBA合計	**256,417,098**	**257,985,535**	**1.25%**
普通債券			
米国			
建築関連製品	28,219,021	29,873,212	0.71%
資本市場	299,650,784	322,092,808	0.48%
化学	61,984,305	66,927,312	0.16%
商業サービス・用品	75,486,716	77,272,183	1.58%
建設資材	45,835,600	48,324,481	0.22%
総合型金融サービス	339,882,654	364,896,102	0.66%
各種電気通信サービス	49,102,881	53,296,856	0.88%
電力	151,043,236	160,517,258	0.44%
ソブリン	4,409,797,258	4,414,028,648	13.38%
ヘルスケア機器・備品	58,368,447	63,434,670	1.16%
ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	350,482,571	379,683,601	3.37%
家庭用耐久消費財	106,119,507	111,127,783	0.30%
独立系発電・再生可能エネルギー発電	139,036,811	149,420,868	0.21%
保険	32,611,816	33,679,538	1.26%
インターネット ソフトウェア・サービス	102,490,405	100,555,246	0.75%
情報技術サービス	38,369,527	40,696,202	1.06%
メディア	71,389,379	76,447,239	0.64%

	償却原価（日本円）	公正価値（日本円）	対純資産%
普通債券			
米国			
石油・ガス・消耗燃料	644,129,952	696,810,346	3.15%
製薬	65,103,957	74,805,652	0.18%
不動産投資法人	60,422,814	67,393,319	0.73%
半導体・半導体製造装置	91,442,936	96,675,716	1.08%
ソフトウェア	203,992,166	204,506,578	0.30%
専門小売店	151,307,294	160,287,682	0.38%
貯蓄・抵当金融	31,778,816	35,838,693	0.16%
米国合計	7,608,048,853	7,828,591,993	35.97%
その他	514,035,529	556,334,847	0.16%
普通債券合計	**8,122,084,382**	**8,384,926,840**	**36.13%**
投資有価証券公正価値合計	**¥ 18,857,715,772**	**¥ 20,187,528,666**	**93.10%**

ＤＩＡＭマネーマザーファンド

運用報告書

第17期（決算日　2026年４月６日）

（計算期間　2025年４月８日～2026年４月６日）

ＤＩＡＭマネーマザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率				
	円	%	%	%	%	百万円
13期(2022年４月５日)	10,071	△0.1	76.3	－	－	1,192
14期(2023年４月５日)	10,063	△0.1	71.8	－	－	1,253
15期(2024年４月５日)	10,055	△0.1	62.0	－	－	483
16期(2025年４月７日)	10,065	0.1	81.1	－	－	3,881
17期(2026年４月６日)	10,117	0.5	79.6	－	－	4,386

（注１）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注２）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。
（注３）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

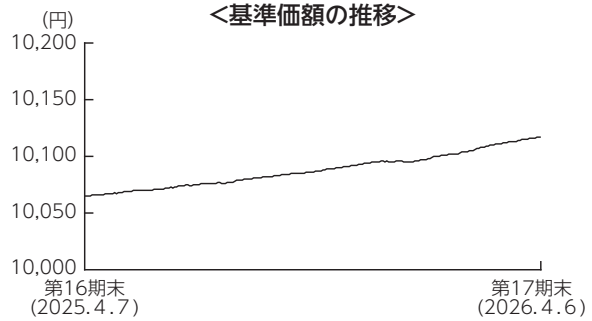
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)組入比率	債券先物比率
		騰落率			
(期首)	円	%	%	%	%
2025年4月7日	10,065	−	81.1	−	−
4月末	10,068	0.0	62.4	−	−
5月末	10,070	0.0	94.9	−	−
6月末	10,074	0.1	83.1	−	−
7月末	10,077	0.1	83.1	−	−
8月末	10,082	0.2	87.7	−	−
9月末	10,086	0.2	80.4	−	−
10月末	10,091	0.3	80.3	−	−
11月末	10,096	0.3	78.0	−	−
12月末	10,097	0.3	78.0	−	−
2026年1月末	10,103	0.4	79.5	−	−
2月末	10,110	0.4	79.3	−	−
3月末	10,116	0.5	79.6	−	−
(期末)					
2026年4月6日	10,117	0.5	79.6	−	−

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 債券先物比率は、買建比率−売建比率です。

■当期の運用経過（2025年４月８日から2026年４月６日まで）

<基準価額の推移>



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は１万口あたり10,117円となり、前期末の同10,065円から0.52％上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行った結果、前期末比で基準価額は上昇しました。

投資環境

国内短期金融市場では、３ヵ月物国庫短期証券利回りは0.4％近辺で始まりましたが、日銀が2025年12月に政策金利を引き上げたことから、当期末にかけて同利回りは上昇しました。

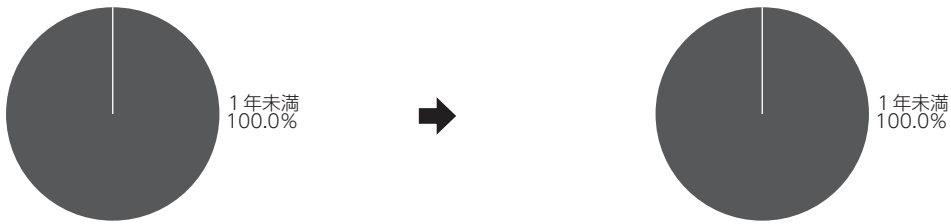
ポートフォリオについて

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

【運用状況】

○残存年限別構成比

期首（前期末）　　**当期末**



（注）比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

今後の運用方針

日銀は2026年３月の金融政策決定会合で、政策金利を0.75％とする金融政策を維持しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米で見られた形の急激な金利引き上げは回避すると想定されます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■１万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■売買及び取引の状況（2025年４月８日から2026年４月６日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	6,136,284	3,295,948 (2,500,000)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2025年４月８日から2026年４月６日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	3,500,000	3,492,683	79.6	−	−	−	79.6
合計	3,500,000	3,492,683	79.6	−	−	−	79.6

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（国債証券）	%	千円	千円	
１３００回　国庫短期証券	−	200,000	199,946	2026/04/20
１３５８回　国庫短期証券	−	200,000	199,918	2026/04/27
４６０回　利付国庫債券（２年）	0.3000	200,000	199,938	2026/05/01
１３６２回　国庫短期証券	−	200,000	199,830	2026/05/18
１３６５回　国庫短期証券	−	400,000	399,524	2026/06/01
１３６６回　国庫短期証券	−	200,000	199,734	2026/06/08
１３６８回　国庫短期証券	−	400,000	399,384	2026/06/15
１３１３回　国庫短期証券	−	200,000	199,658	2026/06/22
１３７１回　国庫短期証券	−	600,000	598,848	2026/06/29
１３５４回　国庫短期証券	−	200,000	199,554	2026/07/10
１３６７回　国庫短期証券	−	200,000	199,228	2026/09/10
１３３８回　国庫短期証券	−	100,000	99,497	2026/10/20
１３４５回　国庫短期証券	−	400,000	397,624	2026/11/20
合計	−	3,500,000	3,492,683	−

■投資信託財産の構成

2026年４月６日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,492,683	79.6
コール・ローン等、その他	894,163	20.4
投資信託財産総額	4,386,846	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨てであります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年４月６日)現在

項目	当期末
(A) 資産	**4,386,846,378円**
コール・ローン等	893,907,070
公社債(評価額)	3,492,683,000
未収利息	256,308
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**4,386,846,378**
元本	4,335,987,602
次期繰越損益金	50,858,776
(D) 受益権総口数	**4,335,987,602口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**10,117円**

(注１) 期首元本額 3,856,870,274円
追加設定元本額 4,945,697,833円
一部解約元本額 4,466,580,505円

(注２) 期末における元本の内訳

バンクローン・ファンド（ヘッジなし）	15,843,407円
バンクローン・ファンド（ヘッジあり）	13,867,169円
バンクローン・ファンド（ヘッジなし／年１回決算型）	1,088,285円
バンクローン・ファンド（ヘッジあり／年１回決算型）	98,095円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円
One／フェルマット・CAT債券ファンド（年４回決算型）（為替ヘッジなし）	4,968,204円
One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（毎月決算・予想分配金提示型）	9,939円
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジあり）	9,940円
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年４回決算型）（為替ヘッジあり）	9,940円
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジなし）	5,768,275円
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年４回決算型）（為替ヘッジなし）	2,884,138円
クルーズコントロール	4,156,376,980円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース（為替ヘッジあり）	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース（為替ヘッジなし）	1,987,479円
マシューズ・アジア株式ファンド	14,723,185円
Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ａコース）	99,040円
Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）	99,040円
Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）	99,040円
世界８資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）	99,109円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド（毎月決算型）（為替ヘッジあり）	188,380円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド（毎月決算型）（為替ヘッジなし）	109,063円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジあり）	297,442円
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジなし）	118,977円
ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円
ＰＩＭＣＯストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジあり）	301,134円
ＰＩＭＣＯストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジなし）	1,493,740円
One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（成長型）	9,943,324円
One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（隔月決算・予想分配金提示型）	1,988,665円
期末元本合計	4,335,987,602円

■損益の状況

当期　自2025年４月８日　至2026年４月６日

項目	当期
(A) 配当等収益	**6,821,005円**
受取利息	6,821,005
(B) 有価証券売買損益	**554,357**
売買益	985,433
売買損	△431,076
(C) 当期損益金(A＋B)	**7,375,362**
(D) 前期繰越損益金	**25,101,955**
(E) 解約差損益金	**△35,920,708**
(F) 追加信託差損益金	**54,302,167**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**50,858,776**
次期繰越損益金(G)	**50,858,776**

(注１) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
(注３) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

（2026年４月１日）